

診療関連技術	2年・前期	2単位 60時間	教授 伊藤美鈴 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110552

### 1. 授業のねらい・概要

学生が、診療（診察・検査・治療）の補助として関わる看護者の役割とその意味を理解するために、医学的問題を有する対象に施される診療の目的・方法等を学ぶ。また、診療に伴う対象の心身の苦痛を最小に抑えるために、正確で安全な技術を身につけることを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 安全管理の技術を実施する上で、必要な基本的知識を理解できる。(D-2)
2. 感染予防の技術を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
3. 感染予防の技術を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
4. 非経口的栄養摂取の援助を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
5. 非経口的栄養摂取の援助を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
6. 排尿・排便を促す技術を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
7. 排尿・排便を促す技術を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
8. 与薬の援助技術を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
9. 与薬の援助技術を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
10. 創傷管理技術を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
11. 創傷管理技術を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
12. 呼吸・循環を整える技術を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
13. 呼吸・循環を整える技術を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
14. 症状・生体機能管理技術を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
15. 症状・生体機能管理技術を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
16. 検査・処置の介助を安全に実施するために、必要な基本的知識が理解できる。(D-2)
17. 検査・処置の介助を安全に実施する上で、必要な基本的技術を習得できる。(D-2)
18. 診療関連技術における安全・安楽の重要性が理解できる。(D-1)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義，講義内容に則ったデモンストレーション，チェックリストを用いた演習の形式で進める。演習は数名の学生で編成したグループ単位で行い，患者・看護者・観察者を体験し，グループディスカッションにより学びを共有する。授業形態として①・②の2クラスに分ける。授業形態は，①・②クラス講義，①クラス演習，②クラス演習，①・②クラス演習。演習レポート（事前・事後）を作成し，学習の深化を図る。

#### 【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

講義の最後に，アクティブ・ラーニングとして振り返りシート（リアクションペーパー）を用いて自分の学びを確認してもらう。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用（Classroomによる学習教材の配信）を実施する。

#### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	ガイダンス 診療関連技術 安全管理の技術	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P2～P7 を精読する。「看護がみえる②」Piiiを精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤美鈴
2	感染予防の技術	講義	予習：「基礎看護技術Ⅰ」P64～P94 を精読する。「看護がみえる①」P6～P41を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
3 4	感染予防の技術（無菌操作，ガウンテクニック，滅菌手袋）	演習	予習：「基礎看護技術Ⅰ」P64～P94 を精読する。「看護がみえる①」P6～P41を精読する。ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
5	非経口的栄養摂取の援助（経管栄養法，中心静脈栄養法）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P47～P56，「看護がみえる②」P230～P265を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
6	経管栄養法	演習	予習：：「基礎看護技術Ⅱ」P48～P55，「看護がみえる②」P230～P265を精読する。ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
7	排泄の援助技術Ⅰ（排尿を促す技術）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P58～P80，「看護がみえる②」P266～P296を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
8	導尿（一時的導尿，持続的導尿）	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P73～P80，「看護がみえる②」P266～P296を精読する。ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
9	排泄の援助技術Ⅱ（排便を促す技術）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P81～P89，「看護がみえる②」P297～P311を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
10	浣腸（グリセリン浣腸），摘便	演習	予習「基礎看護技術Ⅱ」P82～P89，「看護がみえる②」P297～P311を精読する。ナースングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
11	与薬の援助技術Ⅰ（基礎知識）， 与薬の援助技術Ⅱ（経口与薬・吸	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P314～P331，「看護がみえる①」P244～P283	伊藤

	入・点眼・点鼻・経皮的与薬・直腸内与薬)		を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	
12	与薬の援助技術Ⅲ（注射の準備，注射〈皮下注射，皮内注射，筋肉内注射〉）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P331～P351，「看護がみえる②」P30～P121を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
13	注射の準備	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P335～P339，「看護がみえる②」P32～P39を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤、他
14	皮下注射，皮内注射，筋肉内注射	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P339～P351，「看護がみえる②」P40～P56を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤、他
15	症状・生体機能検査技術（検体検査、心電図モニター）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P410～P429，「看護がみえる②」P2～P29を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
16 17	検体検査（血液検査：静脈血採血）	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P411～P417，「看護がみえる②」P2～P29を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
18	与薬の援助技術Ⅳ（注射〈静脈内注射〉）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P351～P360，「看護がみえる②」P30～P121を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
19	静脈内注射	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P351～P360，「看護がみえる②」P57～P63を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
20	点滴静脈内注射	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P355～P360，P366～P369，「看護がみえる①」P57～P89を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
21	与薬の援助技術Ⅴ（輸液ポンプ，シリンジポンプ，輸血管理）	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P351～P369，「看護がみえる②」P30～P121を精読する。	伊藤

			復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	
22	輸液ポンプ, シリンジポンプ 輸血管理	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P361～P365, P374～P380, 「看護がみえる①」P96～P121を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤, 他
23	創傷管理技術	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P284～P311, 「看護がみえる①」P306～P341を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
24	包帯法	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P296～P302, 「看護がみえる①」P337～P341を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤, 他
25 26	技術チェック	演習	予習：課題の練習をNSTCで練習する。 復習：達成できなかった点について再度練習する。課題問題についてテキストや参考書を使用し正誤について調べる。	伊藤, 他
27	呼吸・循環を整える技術	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P236～P267, 「看護がみえる②」P174～P229を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
28	酸素療法（酸素吸入療法）吸入 （ネブライザー）	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P248～P254, P261～P267, 「看護がみえる②」P202～P229を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤, 他
29	排痰ケア（一時的吸引）	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P254～P260, 「看護がみえる②」P174～P185を精読する。ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤, 他
30	検査・処置の介助	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P438～P457を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60%，技術チェック30%，課題レポート10%を総合的に評価する。但し，課題レポートをすべて提出し，定期試験および技術チェックどちらか一方でも王でも合格基準（60%）に満たない場合には，単位認定できない。

定期試験の出題範囲および出題方法等は，事前に口頭で提示する。

課題レポートの詳細・締め切り日時・提出場所等は、講義内で資料を提示する。

#### 課題レポート評価のルーブリック

内容	視点	評価資料	評価基準				
			10点（完璧達成）	8点（十分達成）	6点（おおむね達成）	3点（達成が不十分）	1点（未達成）
課題レポート	知識	「課題レポート」	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題を授業を促進するよう内容で具体的に記載している</li> <li>事後課題を授業後の振り返りとなるように具体的に記載している</li> <li>未提出で声をかけられていない</li> <li>再提出がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題を具体的に記載している</li> <li>事後課題を具体的に記載している</li> <li>未提出で声をかけられていない</li> <li>再提出がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題を記載しているが具体的にない</li> <li>事後課題を記載しているが具体的にない</li> <li>未提出で声をかけられてから提出した課題がある</li> <li>再提出がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題を忘れることがある</li> <li>事後課題を具体的に記載できていない</li> <li>未提出で声をかけられてから提出した課題がある</li> <li>再提出がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題を忘れていている</li> <li>事後課題をわすれている</li> <li>未提出で声をかけられてから提出した課題がある</li> <li>再提出がある</li> </ul>

#### 6. テキスト・参考文献

教科書：1) 任和子：系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I . 医学書院. 2023

2) 任和子：系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術 II . 医学書院. 2025

3) 医療情報科学研究所編：看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版. メディックメディア.

4) 医療情報科学研究所編：看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版. メディックメディア.

参考書：随時紹介する。

#### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について、最低 45 分の予習および授業内容について最低 45 分以上の復習を行う。

臨地で実践可能な水準の技術を修得するため授業時間外で自主練習を行う。

さらに、指定された課題レポートに取り組み、期限内に提出すること。

演習時は臨地実習と同様の身だしなみを整えておく。

#### 8. 受講上の留意事項

主体的・意欲的な授業への参加が重要である。授業中の私語、授業中に授業に関する作業以外の行動および他授業中に本授業に関する作業を実施する等の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

課題は、指定された用紙に手書きで作成すること。期限までに提出がないものは未提出とみなす。

演習前に身だしなみのチェックを実施する。整っていない場合は演習に参加できない場合があるので注意すること。

2年後期の「受け持ち看護実習」の先修科目である。

#### 9. 課題に対するフィードバックの方法

提出物は教員が内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもある。  
技術チェックの結果は、講義内でフィードバックする。  
定期試験の答案は返却しない。模範解答は試験後解説するか、もしくは掲示する。

**10. 卒業認定，学位授与の方針当該授業科目との関連**

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

**11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される**

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行います。